



中野区議会議員(無所属)

佐藤ひろこ

うさぎだより

編集:住民自治をすすめる会 発行:市民自治フォーラム

[事務所]〒164-0001中野区中野5-32-11-302 TEL/FAX5913-0577 [自宅]〒164-0001中野区中野1-33-9 TEL/FAX3368-9107

ひとりひとりを大切にすることをすすめます。 —「中野から政治を変える」さらなる一歩へ—



イラク戦争は拡大の一方です。たくさんの方が市民が傷つき、街が破壊されていきます。私たちは、生きるために、支え合うために、地域社会をつくっています。しかし、国家が行なう戦争は一瞬のうちに、人々が長い間かけてつくった地域社会を壊し、育んできた命を奪います。

佐藤ひろこの議会質問

2003年第1回定例会

当事者といっしょに考える姿勢を

佐藤 やつと中野でも24時間の障害者地域自立生活支援センターが4月から始まる。しかし、いっしょに検討をしてこなかったことが障害者団体から問題にされた。また、他の社会福祉法人へ2年後切り替えると急に発表された、かみさぎこぶし園に対して、運営を変えないでという陳情が議会に出された。一番大事にしなければならぬのは当事者の意思である。決める前に利用者や話し合っべきではないのか。福祉部長 個人の意志と選択が尊重され、自立生活が支援される地域社会を実現していくために、これからは十分話し合いをしていかなければならないと思っている。

自立生活センター

障害を持つ人たち自身で運営する自立生活センターを中野にもつくりたいと、各地を見学し議会質問してきた。自立生活センターは自分達が必要とするサービスを作り出し、だれもが当事者として参

加し、暮らしやすい社会を形成するモデルをつくってきた。地域で24時間365日の福祉サービスを支える拠点である。

何かあった場合助けるしくみを

佐藤 「今は元気で暮らしているが、何かあった場合助けてくれる人がほしい。」との声を頂く。高齢化し孤立しがちな都会の中



で、サポートするしくみをどうつくっていくのか。保健部長 これからは一人暮らしの方に加えて高齢者のみの世帯についても緊急カードの記入などすすめたい。支援の具体的な方法については協議をしている。

ヘルパーの医療行為の容認を

佐藤 たんの吸引などは医療行為で医師や家族以外はできないとされている。全身の筋肉が動かなくなる難病のALS患者は、その多くが人工呼吸器でひんぱんに、たんの吸引が必要で家族だけだと大変である。生活実習所でけいかん栄養などが必要な人がいるが、介護職が対応できない。ヘルパーの医療行為の容認について国に早急に働きかけてほしい。

福祉部長 三月中旬厚生労働省の検討会が結論を出すの



ホームヘルプをもっと使えるように

佐藤 4月からはじまる支援費制度で、ホームヘルプの補助金の上限を厚生労働省はもつけた。それによって区でもホームヘルプの時間に制限をかけているが、選べる福祉施設から在宅への流れを確かなものにするためには、障害者のホームヘルプサービスに制限をもうけず、もっと利用を働きかけるべきではないか。福祉部長 区としては現在のサービスの水準を維持していく

問題あり、支援費制度

移動介護で何時間、身体介護で何時間と別々に支給量が決まる。身体介護のヘルパーは、今日はお天気いいから外に出ようと移動介護をすることができない。これって変。他にも問題はいっぱい。詳しくは佐藤ひろこのホームページを。

もっと子育て支援を!

「お母さんだっただけほめられたい」

児童館など各地で自己尊重の考え方を伝えている、北村年子さんの講演会をさくら館で行った。子どもが生まれていることをお母さんがほめてあげること。自分のいいところ、子どものいいところをさがしてみよう。自分のつらさを認めあげよう。」

北村さんの話に共感し、話し出すお母さん達の目ははじめる。児童館など各地で自己尊重の考え方を伝えている、北村年子さんの講演会をさくら館で行った。子どもが生まれていることをお母さんがほめてあげること。自分のいいところ、子どものいいところをさがしてみよう。自分のつらさを認めあげよう。」



図書館の安易な 民間委託はやめて！

佐藤 経営改革指針に図書館の民間委託が示されている。中野区江原町にある東京こども図書館のように行政の支援を受けず、すぐれた理念で運営されている民間図書館もある。

しかし、他区では理念や実績のない民間会社に図書館業務が委託され、利用者の個人データを私的に利用した事件がおきている。安い賃金でパート社員の入れ替わりも多く、研修や業務に慣れることができていない。図書知識がなくてできる仕事ではない。教育委員会次長、教育委員会として委託化を検討している。委託業者の数も増加している。

住基カード導入予算は いららない！

佐藤 国は8月25日に住基カードを導入し、住基ネットの本格稼働を予定している。コード番号の

佐藤ひろこの四年間の議会質問から

前区長の政治姿勢を追及
 瀕死の中野区、区長はどう責任とるの
 だれの責任？失敗した計画と塩漬け用地
 地域で暮らし続けられる介護システムを
 余裕教室をデイサービスセンターに
 大きな特養よりケア付住宅を
 NPO地域福祉活動立ち上げ支援を
 保健と福祉の総合相談窓口を
 介護保険の認定を早く

障害者をサポート
 新しい生活実習所を
 民間法人の力でグループホームを
 知的障害者ガイドヘルパーを
 障害者の就労支援を
 精神障害者ホームヘルプの実施を
 地域福祉権利擁護事業の充実を
 24時間の自立生活支援センターを
 障害が重くても学童クラブへ

子育てをサポート
 宮園・東中野保育園存続に
 小規模保育園の充実を
 24時間の子ども家庭支援センターを
 子どもたちへの文化活動の支援を
 塩ビのおもちゃは使わないで

開かれた教育を
 少人数学級の実現を
 在校生にも指導要録の全面開示
 教科書選びに区民や教師の意見の反映
 給食の安全チェックを
 水泳指導の安全対策を
 ひとりひとりの人権を大切に
 国政調査は封入提出を
 住基ネットにストップ個人情報保護条例を

女性をサポート
 女性に対する暴力の実態調査を
 シェルターづくりの支援を
 男女混合名簿の全校実施を
 女性会館情報図書室の活用を
 100人の非常勤職員の首切りはひどい

大きな開発をやめて身近なまちづくり
 中野区がお金を出すの？上野原の水道工事費
 上野原スポーツ学習施設用地の売却を
 警察大学等跡地土地利用計画案の見直しを

平和のために
 自治体議員で周辺事態法反対声明
 無防備地域宣言(戦争に協力しない)を
 財政の建て直し
 公債費の歯止めルールを
 既存の施設の積極的な活用
 区長や議員の報酬の減額を

民間利用が一枚のカードでやりやすくなり、区民のプライバシー保護という観点から大きな問題がある。住基カードの導入に向けての予算は不必要。区長 住基カードの利用については当面条例による活用は考えていない。

その他の質問

介護者の精神的サポートを区民といっしょに考える職員に

NPO支援で新しい公共の形成を環境リサイクルプラザに区民の力を生かしてにぎわいを
 中野駅周辺のまちづくりはバリアフリーから

新しい「中野区保健福祉 総合推進計画」から

来年度から第三の生活実習所を野方に整備
 2年後に痴呆性高齢者グループホームが弥生町に

知的障害者、精神障害者グループホームをもう一ヶ所増

どうなる？ サンプラザ取得

国の特殊法人雇用・能力開発機構が、中野サンプラザを中野区に売却したいと打診。区は、将来のまちづくりにとって重要な施設なので、取得することが望ましいと考え、経営改善や譲渡価格の減額など条件を提示して協議を続けている。



戦争を止めよう 声をあげましょう。

アメリカ大使館 TEL03-3224-5000 FAX03-3589-4235
 首相官邸 TEL03-3581-0101 FAX03-3581-3883
 外務省 TEL03-3224-5000 E.mail.goiken@mofa.go.jp



どうなる 警察大学校等跡地

清掃一部事務組合が新たな清掃工場は必要ないと検討結果を出した後、結論は区長会にゆだねられたが議論されないうまに
 なっている。それで中野区の清掃工場計画もどうなる
 かわからないまま、3
 年後に警察病院が建設されるので、敷地
 内の道路の計画だけが先行して決定
 される予定。早く防災公園を。



「うさぎだより」

で12年間、議会ごとに情報をお伝えしてきましたが、いかがでしたか。私が議員になった時は上野原スポーツ学習施設など、ハコモノ建設計画が目白押しの時でした。財政難を引き起こすから計画をやめるようにと発言し続け、先の見通しをもたない予算に反対してきました。中野区は坂を転げ落ちるように財政難となりました。破綻した中野区をなんとかしようと、昨年は区長選挙に取り組み区長を変え、区民参加で新しい中野をスタートさせることができました。

ずーっと反対してきた無駄なハコモノ計画の廃止決定がやっと出され、新しい予算案には、区民参加の徹底のしくみ、区民の力を生かすNPO・起業支援策など、区民に開かれた政策の芽が出されています。11年ぶりに予算に賛成しました。残念なのは、住基カード導入の経費が組まれたことです。中野区は住基ネット離脱後も国に対し疑問点を具体的に投げかけてきました。国ときちんと議論ができる中野区にしていきたいと思ひます。

多くのことを皆さんから学びました。ありがとうございます。また「うさぎだより」でお会いできたらと思ひます。
 佐藤ひろこ

佐藤ひろこの収支報告 2003年1～3月

		1月	2月	3月
収 入	報酬	623,400	623,400	623,400
	費用弁償	18,000	3,000	27,000
	税金	80,860	80,860	80,860
支 出	年金・保険	128,600	128,600	128,600
	活動費	95,607	68,415	53,111
	値上げ分寄付	13,704	13,704	13,704
	積み立て	18,000	3,000	27,000
残		¥304,629	331,821	347,125

* 昨年4月から報酬の値上がり分25,404円を区外の女性緊急一時保護施設に寄付してきた。1月から報酬が11,700円減額。差額の13,704円を寄付。
 * 議会に出席すると1日につき3,000円の費用弁償がつく。本来ならなくすべきだと、積み立てている。